

# ごあいさつ



社団法人 日本WHO協会  
理事長 関 淳一

皆様方には、気持も新たに2011年の新春をお迎えになられたことと御推察申し上げます。また、昨年は当協会の数々の活動に、大変な御尽力、御協力を賜り心から厚く御礼を申し上げます。

特に、日本WHO協会が主催した、主なものとして昨年3月の東京に於ける「インフルエンザ対策セミナー：世界と日本次に備えるべきは何か」、9月の大阪国際会議場でのフォーラム「WHOと日本」並びに大阪歴史博物館での「第1回禁煙セミナー：たばこ職場での対策を考える」等では、非常に多くの皆様の御協力の下、多数の方々の御参加もいただき、いずれも成功裡に終えることができました。

そこで、今年は第一弾として、WHOが活動を開始した記念日に当る4月7日の世界保健デーに、丁度開催中の日本医学会総会の博覧会々場（東京ビッグサイト）に於いて、「日本WHO協会世界保健デー2011記念イベント」を開催することを決定し、目下着々と準備が進んでおります。

日本医学会総会は、明治35年より4年に1回開催されてきたもので医学・医療の最新の知見などが議論される医学会の他に近年は一般市民向けの博覧会も併催されるようになり、今年は第28回総会となりますが来場者総数は全国から約35万人が見込まれています。

今回の医学会総会のメインテーマは「いのちと地球の未来をひらく医学・医療」で、日本WHO協会は「アフリカの健康、水、いのち」をテーマに、ビデオや音楽などを用いて舞台上でWHOの中広い活動の一端を紹介すると共に、展示などを用いて「世界保健デー」の意義を広く伝える計画を練っております（詳細は当協会のホームページを御参照下さい）。

2011年は、日本WHO協会にとって、長期的展望をもちつつ、その基礎を更に確固たるものにしていく極めて重要な年であると位置づけております。

皆様方の一層の御支援を心からお願いし、新春号の御挨拶といたします。

2011年2月